

〔派遣〕

派遣研究者	東京大学大学院 工学系研究科 博士課程 佐藤 宗彦	2022106
研究集会名	ACM Symposium on User Interface Software and Technology (UIST) 2012	
出張期間	平成 24 年 9 月 26 日～平成 24 年 10 月 15 日	
開催場所	アメリカ合衆国 ボストン市	
発表論文	Capacitive Fingerprinting : Exploring User Differentiation by Sensing Electrical Properties of the Human Body 人体の静電容量の周波数特性を用いた個人識別に関する研究	

概要：

本会議は、Human Computer Interaction の特にユーザーインターフェースの分野において最も権威がある国際学会であり、本年は 2012 年 10 月 8 日～10 日の 3 日間、アメリカ・ボストンにて開催された。62 件の論文発表があり、採択率は 22% であった(投稿数 288 件)。

申請者はここで、タブレットデバイスのようなタッチパネルにおいて複数ユーザが協調作業を行う際にどのユーザによるタッチであるかを検出するシステムを開発し、フルペーパーの口頭発表と共にデモンストレーション発表を行った。本会議は、この分野をリードする研究者が一堂に会する場であり、ここで研究内容を発表することで深い議論が可能である。申請者の研究成果を広く伝えと共に、更に推し進めるためのフィードバックが得られた。申請者らの手法は、従来手法のようにユーザが何らかの装置を身につけたり特定位置に立ったりする必要がなく、タッチパネル内部にシステムを完全に実装することが可能であり、この点での優位性と実際のアプリケーションに即座に応用可能な点が高く評価された。

また、本会議はボストンで行われたため MIT media lab のオープンハウスも併せて行われるなど、会議参加者ではない研究者との交流や意見交換も非常に高密度に行うことが出来、とても意義深いものであった。更に今回は、Media lab で招待講演をさせていただく機会を得、会議開催の前週に一時間ほどのトークを行い、ここでも非常に有意義なディスカッションとフィードバックを得ることが出来た。